



多摩辺

学 校 だ よ り

昭島市立多摩辺中学校

校 長 堀 田 典 子

令 和 8 年 2 月 3 日



心の鬼と向き合う

校長 堀田 典子

1月下旬は、寒波が押し寄せ、昭島でも朝は、氷点下4℃だったと聞いています。スキー場並みの寒さに震えましたが、今日は節分。そして明日は立春を迎えます。梅の花が咲き始め、甘い香りを放っています。桜の枝もツンツンと尖った蕾が見てわかるくらい大きくなってきました。少しずつではありますが、春は確実に訪れているのですね。

さて、今回は節分にちなみ、「鬼」の話をして。「鬼」は、昔話に出てくるような恐ろしい存在だけではなく、私たちの心の中にも潜んでいる弱さの象徴として語られます。中学生の皆さんにとって、その“心の鬼”はとても身近なものかもしれません。たとえば、やるべきことを後回しにしてしまう気持ち、ついスマートフォンに手が伸びてしまう誘惑、友達や家族にぶつけてしまうイライラ、失敗を恐れて挑戦から逃げてしまう不安。こうした感情は誰の中にもあり、決して特別なものではありません。



大切なのは、「鬼」を“いないふり”にするのではなく、しっかりと向き合うことです。自分の弱さを認めることは、決して恥ずかしいことではありません。むしろ、それを自覚できた瞬間から、成長への一歩が始まります。節分は、そんな自分の中の鬼を見つめ直す良い機会です。「今の自分が追い出したい鬼は何だろう」と考えてみることで、日々の生活を少しずつ変えていくきっかけになります。

弱さに向き合い、少しでも前に進もうとする気持ちこそが、皆さん自身の“福”を呼び込む力になります。新しい季節の始まりに、自分の中の鬼と向き合い、より良い自分へと踏み出す勇気をもってみましょう。

